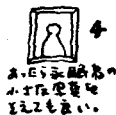


聖堂にはハニヒカケが
あり、聖堂の中央、もしくは、
両側の手こころで行う。



永眠者の
小正位聖堂に
置くこともよい。



人毎分の
香燭を燃らす

ハニヒカケ

本用永眠者了物



本花



糖飯

永眠者の記憶の
祈りはとて大切。
自分も永眠して
はれも永眠して
くれなかつたら
も 悲しいであらう。



永眠者の記憶録

→ 本家でやる時



いつも祭壇となつて
こころを神前から祈り
唱へてもらう。

田井

永眠してから
3日目、9日目、40日目
係は一年毎で、
それとわづら3年、7年目などに
大きくしてもよいでしょう。

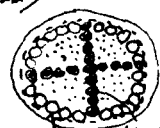
日本ではもちこ餅が
盛んに使われるが、
もちがオリシナシ。

もちこ餅は
にいた係は適量の
塩をまわをまかせよ。



・参拝者の介たけ。
・ちうど「食いざて」
・もちこ餅に
・ほしごし
・チャーハンやのびた
・こんもりと盛る

モチこ餅の作り



本永眠者が神と
諸聖人の由で
口味天国の口味わ
い花共に口味わう
ためです。

本新札が係にみした
分けを食つても可。加うスチ
のフーシで、加うフーシの
金銀紙をうけこはると便利。
もちこ餅
その場
に配した
くはり元があまりある。



他にモチこ餅
いろいろ工夫した
モチこ餅の作り
十字架を茶色紙に
貼る